トップの素顔

三光電業（広島市西区） 森脇 喜美代社長（75）

ロボ事業伸ばす。スポーツにも情熱



ユニカールの手本を示し、「続ければ結果が伴うのは仕事にも生きる」とほほ笑む

電子・制御部品の商社の2代目。創業者の父周一さん（2006年に86歳で死去）から05年に社長を継ぎ、祖業に加えロボットシステムの構築も事業の柱に育てた。「多くの人に慕われた父には勝てないが、どこかで超えたいと思う自分がいた」と打ち明ける。

大阪府八尾市で生まれた。1957年に周一さんが広島市南区で創業したのを機に、10歳から広島で育つ。創業時はその日の売り上げで翌日以降の商品を仕入れる自転車操業。自転車やバイクで呉市や岩国市まで商品を売りに行く周一さんを間近で見てきた。

「創業者の頑張りを残しつつも欲を持たないと会社が衰退する」。取引先の中小企業が人手不足に悩む姿に接していた13年、「今からはロボットよ」と宣言してロボット産業へ参入した。仕入れたロボットを顧客の使用環境に合わせてプログラミングする技術者を育成して受注を伸ばし、売上高の2割を占めるまでに成長させた。

スポーツ好きの一面を持ち、20年以上親しむのが陸上版カーリングのユニカール。3人一組のチームで競い、全国大会も2度優勝した。「運動神経ではなく、作戦で勝敗が決まるのが魅力」。11月23日に熊本県である全国大会にも出場する。「普段知り得ないさまざまな職種の人と交流するのが楽しみ」と心待ちにしている。

（黒川雅弘）

もりわき・きみよ　1950年生まれ。79年入社。経理部長、取締役などを経て、2005年8月から現職。広島市西区商工センターの卸業者約200社でつくる協同組合広島総合卸センターの副理事長も務める。休日はゴルフも楽しむ。